

平成26年度 町政執行方針

町民のみなさんとともに、夢を持ち、知恵を出し合い、そして行動することを基本理念に、まちづくりをすすめます！



平

成二十六年第一回町議会定例会の開会にあたり、町政執行に対する所信と町政運営の基本的な考え方を申し上げます。私は、町長の重責を担わせていただけて以来、長万部町の更なる発展と町民生活の向上をめざし、町政の執行にあたってまいりました。

この間、議員各位をはじめ町民のみなさんから温かいご理解とご支援をいただきましたことに、心から感謝とお礼を申し上げます。

昨年七月の参議院議員通常選挙の結果、自公連立与党が過半数を獲得し、衆参両院のねじれ状態が解消されましたが、引き続き、ＴＰＰ協定協議やエネルギー政策、社会保障等の課題が山積するなか、真に国民のための政権運営がなされることを期待しております。

地方を取り巻く環境は、社会保障関係費の自然増等により、なお一層厳しい状況にあります。また、財政の健全化に努め、町民のみなさんとの対話を大切にし、協力・協働のもと、安心して暮らせるまちづくりを進めてまいります。

それでは、町政執行の主要施策について申し上げます。

行財政改革 および消費税

職員人件費等の削減は、引き続き、特別職給与の減額と期末手当役職加算の凍結を行い、一般職員も給与三パーセントの減額と期末・勤勉手当の役職加算率の抑制を実施いたします。

また、職員が役場庁舎や消防庁舎、保育所の事務スペース等の清掃や役場庁舎の休日等の日直を行い、経費の節減に努めてまいります。

本年四月一日から消費税及び地方消費税が、五パーセントから八パーセントに引き上げとなることから、下水道使用料や水道料金等を改定する関係条例の一部改正を本定例会に提案いたします。



交通安全および 防災関係

平成二十五年における北海道の交通事故死者数は、前年と比べて十六人少ない百八十四人で、昭和二十五年以降、最も少なかった平成二十三年の百九十人をさらに下回る結果となりました。

交通事故抑止を目標に、事故に遭わない、起こさないよう、関係機関、各種団体等と連携を密にし、地域や職場運動を積極的に展開し、交通安全への関心を高めてまいります。

防災関係では、長万部町地域防災計画に基づき、防災訓練や災害パネル展等を実施し、防災意識の高揚を図ってまいります。

また、災害時に使用する毛布や敷きマット等も計画的に整備いたします。

東京理科大学 長万部校

今年も四月九日夜、全国各地から長万部町に東京理科大

学基礎工学部二十八期生が入学されます。町民のみなさんとともに温かい気持ちで迎えてあげられるよう願うものであり、今後も、大学との良好な関係のもと、更なる交流を深めてまいります。

北海道新幹線関係

北海道新幹線新青森・新函館（仮称）間の工事は、二年後の平成二十七年末の開業を控え、順調に進められており、平成二十六年度は工事全体では終盤の仕上げ段階となっており、後半には試験走行なども行われる予定であります。

一方の北海道新幹線新函館（仮称）・札幌間の建設工事は、一昨年六月の着工認可以来、着々と準備が進められており、これからは、着工区間の七十六パーセントを占めるトンネル工事の準備に入る予定となっております。

町内のトンネル工事では、およそ二百六十五万立法メートルの土砂が出ることになり、ますので、その処分先確保に全力を注ぎたいと考えており

ます。

また、初の試みとして、平成二十五年度に実施したまちづくりワークショップでは、町民自らが、まちづくりのアイデアなどを出し合いながら、異業種間の交流ができたことも一つの成果であり、まちづくりへの町民参加のきっかけとしての目的は達成されたと考えております。

今年度は、昨年出された方向性などを基にしながら、「新幹線を核としたまちづくり」の気運を高め、いろいろなアイデアの実現に向け、具体策を整理しながら、継続してワークショップを開催し、併せて各種新幹線関連計画や関連事業の検討も含め、関係機関と密接な協議を進めてまいります。

企業誘致関係

新幹線関連のトンネル支保工や高架橋の基礎杭に使用する鉄筋力ゴなどを製作する株式会社アールシーサンコーは、工事準備の都合などにより工場建設が遅れておりまし

高齢者福祉対策

本町の満六十五歳以上の人口は、平成二十六年一月末現在二千二百五十六人で、総人口に占める割合は、三十七・七パーセントと前年同期に比較し一・一ポイント上がっており、高齢化は着実に進行しております。

住み慣れた地域でなじみの深い隣近所の方々と、安心して自立した生活が営めるよう、介護保険事業の通所サービスや訪問サービスに、町で実施している在宅福祉サービスを組合せながら、福祉事業を進めてまいります。

また、日々の生活に多少の不安があっても施設に入るまでではない方を支援する高齢者生活福祉センターの充実も図ってまいります。

平成二十六年度も各町内会等で実施されております地域敬老会への補助や老人クラブ活動支援、老人福祉バスの運

障がい者福祉関係

地域活動支援センターは、町内に在住する障がいのある方の集まれる場所として、また軽作業を行う事で生きがいを見いだすことができる場所として喜ばれており、今後より一層活動の周知に努め、利用者の増加を図ってまいります。

町民の健康増進

健康を守るには、病気になる前の予防が大切です。がん検診をはじめ各種健康診査は、積極的に広報活動を行い、受診率の向上に努め、健康管理の推進を図ってまいります。

また、医療費の抑制には予防に努めるのももちろんですが、疾病の早期発見・早期治療がもつとも有効であります。そのため生活習慣病予防と

臨時福祉給付金

平成二十六年四月から消費税率が八パーセントに引上げられることに伴い、所得の低い方々への負担を緩和するため、臨時福祉給付金が支給されます。

町民税非課税の方が対象と

なることから、税が確定する六月以降に申請をいただき、随時支給してまいります。

児童福祉関係

子どもや家族を取り巻く環境は、少子高齢化の進行や核家族化、女性の社会進出等により大きく変化し保育への需要が多様化しているなか、子どもたちの健やかな成長のため、充実した保育所づくりが求められております。

保育所では、職員体制の充実とともに保護者のご理解とご協力をいただきながら、今後も保育サービスや保育環境の充実を図ってまいります。

また、保育所内に設置している子育て支援センターでは、みんなの広場や遊びの広場など親子遊びの場の提供、子育て相談、子育てサークルの応援など、子育て支援の充実に努めてまいります。

さらに町内に設置されている保育園・幼稚園・放課後児童クラブの運営に対し、平成二十六年度も支援を行ってまいります。

生活環境関係

私たちの暮らしに関わる重要な環境問題である地球温暖化防止対策をはじめ、低炭素社会の実現へ向けた環境に対する取り組みは、町民一人ひとりが、意識を持つて環境への負担の少ない生活様式へと転換していくことが大切であります。

本町では、循環型社会づくりの基本的方向性を示した「長万部町一般廃棄物処理基本計画」を見直し、今後のごみ処理行政の方向性を明らかにしており、この計画を基本に、環境への負担を低減する循環型社会の確立に努めてまいります。

「混ざればごみ、分ければ資源」の言葉どおり、自然に優しい循環型の地域社会づくり推進のため、今後も地域のみなさんとの協働による廃棄物の発生抑制、再使用、再生利用を進めてまいります。

また、平成二十六年度もごみ減量化の一環として、生ごみ堆肥化容器購入費補助や廃食用油、小型家電、衣類等の

無料回収を、継続して実施してまいります。

農業振興

本町の基幹産業である酪農経営は、配合飼料や生産資材が高止まりするなか、より一層のコスト低減と安定した経営の改善が必要とされており

ます。これら農業経営の改善を図るため、農業経営基盤強化資金等への利子助成を継続して実施するとともに、酪農ヘルパー利用組合や乳牛検定組合等に対する助成をしてまいります。

さらに、生産者のコスト低減を図るため、平成二十六年度も町営による公共牧場事業を推進してまいります。

肉用牛は、町有貸付牛の貸付けを引き続き行うとともに、道南農業共済組合や農業改良普及センター等と連携し、生産者の技術支援や巡回指導等に努めてまいります。

地域文化等の観光資源のPRを実施してまいります。

本町の大きな観光資源のひとつであります長万部温泉の温泉井維持管理事業に助成し、温泉施設の安全と安定供給に努めてまいります。

また、本町の一大イベントであります「おしゃまんべ毛がにまつり」に助成し、地域特産物のPRを積極的に行い、町内外の各団体との連携を強め、地域の活性化を図り、観光のブランド化を進め、さらなる観光振興・地域振興に努めてまいります。

労政関係

全国的に雇用情勢は回復基調にあるものの北海道は、他地域との比較では、回復の遅れが指摘され、未だに厳しい状況にあります。

本町としては、さらなる雇用の維持、安定に努めるため、渡島檜山北部通年雇用促進支援協議会等関係機関と連携を密にし、求人情報や各種講習会の周知を進めるとともに、国や道の各種事業等を活用し

林業振興

町有林保育事業では、豊津環境保全林及び静狩・共立地区町有林の多面的な機能をより一層充実させるため、昨年度に引き続き、作業道の整備、植栽、下刈、除間伐事業などの一体的な整備事業を実施してまいります。

森林整備加速化・林業再生事業の国庫補助事業で進めております平里地区町有林内の林業専用道新設工事は、平成二十六年度の完成予定で実施してまいります。

民有林保育事業では、「未来につなぐ森づくり推進事業」による造林奨励事業補助を行うとともに、町単独事業として、「民有林造林推進下刈奨励事業」による下刈事業補助を行い、林業振興と森林機能の向上に努めてまいります。

森林空間総合整備事業で実施した富野地区の通称「体験の森」は、町民が親しみやすい憩いの森林空間として、適切な管理を行ってまいります。豊津地区の分収造林契約地は、作業道の修理をはじめ、

て、雇用の確保を積極的に行ってまいります。

消費生活相談関係

近年の消費生活相談の多様化に伴い、一昨年度から渡島管内の全ての市町と協力して、より高度な対応ができる「函館市消費生活センター」への相談引継ぎ体制を整えております。

なお、本町でも引き続き、消費生活相談員を配置するとともに、地方消費者行政活性化事業基金等を活用して整備した消費生活相談体制の充実など、消費生活行政の強化を図ってまいります。

建設事業

建築事業では、単独事業として町営住宅南部団地の一部の屋根葺替え工事を実施してまいります。

また、各団地の適切な管理と維持補修工事を計画的に進めてまいります。

漁業振興

本町の平成二十五年におけるホタテ貝養殖漁業の漁獲量及び漁獲金額は、漁獲量一万三千七百九トン、漁獲金額では二十七億五千九百十四万円となり、前年と比較し、漁獲量で約六・九パーセントの減となりましたが、漁獲金額では約二十五パーセントの増と

次に、土木事業では、国の

社会資本整備総合交付金を活用して、JＲ北海道に委託し、老朽化の著しい本町と温泉町を結ぶ長万部中央跨線橋修繕工事を実施いたします。

また、道路施設の老朽化等により利用者や第三者に被害を及ぼすおそれのある道路案内標識や道路照明の点検を行い、損傷箇所等が発見された場合は、修繕や更新等を検討してまいります。

道路維持整備では、町道の舗装補修と側溝補修整備等を計画的に実施してまいります。

公園事業

公園事業では、町内の公園の安全性と快適性を確保するため、国の社会資本整備総合交付金を活用して、老朽化した遊具等の更新を計画的に進めてまいります。

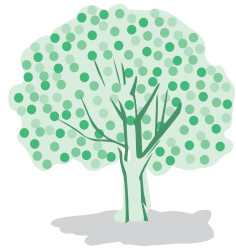


公共下水道事業

公共下水道の整備状況は、事業認可区域三百六ヘクタールのうち整備済み面積は二百七十・三ヘクタールで、認可区域の八十八・三パーセントが整備されております。

水洗化件数は、平成二十六年一月末現在、供用開始区域内人口四千百二十二人に対し、下水道接続人口は二千九百五十九人で、水洗化率七十一・八パーセントとなっております。今後も快適な生活環境づくりに向け、水洗化の普及促進に努め、自主財源の適正な確保と経営の効率化を進めてまいります。

平成二十六年度の主な建設工事は、終末処理場長寿命化計画に基づく更新工事の終末処理場OD棟の屋根改修及びドア交換工事を実施してまいります。



ガス事業

平成二十五年度の経営状況は、熱量変更事業による繰延勘定償却費の費用を計上していることから、単年度収支で赤字が見込まれております。

平成二十六年度は、主な事業として、経年管対策事業であるガス本支管改良工事を実施してまいります。

収益は、主原料のプロパンガスの高騰による原料費の増加や熱量変更事業の繰延勘定償却費の計上から収入に対し費用が増加し、単年度収支で赤字の見込みとなっております。

ガス事業は、今後も厳しい経営環境ではありますが、保安の確保と安全性の向上に努めるとともに、健全な経営を図るよう努力してまいります。

ガス料金は、主原料のプロパンガス輸入価格の変動により、平均原料価格がガス供給条例で定めている基準平均原料価格と比較し、変動があった場合に、料金の単位料金単価を調整する原料費調整制度が導入されております。

水道事業

この制度により、平成二十六年度も引き続き、毎月の料金を調整することになります。

平成二十五年度は、給水件数、給水量ともに一月末現在で、前年度より下回りました。が、経費の節減により、単年度収支で黒字が見込まれております。

平成二十六年度は、主な事業として老朽化による水道設備の更新事業の費用を計上しております。

また、収益は、経費の節減に努め、単年度収支で黒字の見込みとなっております。

水道事業は、今後とも経費の節減を図り効率的な事業運営を実施し、累積欠損金の縮減を図るとともに、安全な水の安定供給に努めてまいります。



町立病院事業

平成二十六年三月末をもって札幌医科大学からの消化器内科医師一名の派遣が終了することから、内科の常勤医師が不在となります。

常勤医師が見つかるまでの間、出張医での対応となりますが、関係機関に働きかけをしながら常勤医師確保に向け、努力してまいります。

平成二十六年度の診療体制は、当面、外科医一名と内科の出張医二名による診療を実施してまいります。

非常勤医師では、毎週火曜日と金曜日の小児科外来は、北大小児科から医師一名の派遣をいただき、毎月第一・第三水曜日の眼科は、吉田眼科病院による眼科診療をお願いし、土曜・日曜日は、北大第一外科から宿日直の医師派遣をいただきながら、診療体制を整え診療にあたっております。

常勤医師が不在により、町民のみなさんに変惑をおかけいたしますが、今後も、訪問診療や健康診断・各種検

消防関係

診及び予防接種等の充実を図り、町民のみなさんの安心と信頼を確保し、より良い医療の提供や地域に根ざした信頼される町立病院をめざし、職員一同、一丸となり努力してまいります。

火災や災害から尊い生命と財産を守るため、消防体制の充実強化、消防施設の整備に努め、町民が安全で安心して暮らせるまちづくりを推進してまいります。

火災予防では、ホテルや旅館、病院、福祉施設など不特定多数の者が出入りする施設における防火管理体制や消防用設備の適正な維持管理について査察を行い、火災の未然防止に取り組んでまいります。

また、危険物による火災や流出事故を防ぐため、危険物を貯蔵又は取り扱う施設への立入検査を行い、事故防止を徹底してまいります。

救急業務では、救命処置の高度化や処置拡大に対応するため、救急救命士を医療研修

機関に派遣し、認定資格を取得させ救命率の向上を図るとともに、各施設の職員や一般住民に対し、AEDの取り扱いを含めた救急講習を定期的に開催し、応急処置の普及啓発に努めてまいります。

二月十七日には、消防団員の増加率が高く評価され、北海道では唯一、長万部町消防団に対し、総務大臣より感謝状が贈られました。

引き続き、消防団活性化対策事業を推進し、消防団員の入団促進、消防資機材の整備、安全管理及び教育訓練の充実を図ってまいります。

消防・救急デジタル無線整備事業は、平成二十五年度に実施設計を完了し、平成二十六年にはサイレン遠隔吹鳴装置の増設を含め、デジタル化整備工事を実施してまいります。

教育関係

静狩小学校校舎は、昭和四十八年度に建築され、平成三十三年度には耐力度調査により文部科学省から危険校舎の認

定を受け、さらに老朽化も進み、地域から改築の要望も出されております。

また、静狩小学校区における今後の児童数推計では、三学級十数名を維持することから、改築に向けた基本設計委託を、平成二十六年度に実施してまいります。

昭和六十一年度に建築した長万部小学校の暖房用スクーラムスター（中央監視装置）が、経年により一部不具合が発生しており、冬期間の安全な運用を図るため、更新工事を実施してまいります。

また、現在運行している長万部中学校通学用スクールバス三台のうち、平成十一年度に入入したマイクロバスは、使用年数、走行距離が相当数経過しており、引き続きの運行に耐えられないため、新たに購入いたします。

なお、新車両は、中学生の乗車に加え、国縫小学校閉校に伴い、小学生の乗車数も増えることから中型バスを予定しております。

以上、町政執行の概要について申し述べましたが、地域の自主性や自立性を高め、創

きれいな水を

未来へ渡そう！

町では、快適な生活環境をつくり、美しい自然を次の世代に伝えていくため、下水道の整備を進めています。

排水設備の設置・改造

下水道の供用（使用）開始となった区域では、くみ取り便所を水洗式に改造し、台所や風呂などの汚水を流すための排水設備を設置する工事、または既設のし尿浄化槽を廃止し、排水設備を設置する工事を行わなければなりません。

排水の整備についてお願い

家庭内から出る排水を側溝等に流すことにより、これから暑くなってきましたと臭いや蚊の発生源となります。

公共下水道への接続は、台所や風呂等からの排水だけを先に接続できますので、排水設備の整備にご協力をお願いいたします。

お問い合わせ先

水道ガス課（☎212862）